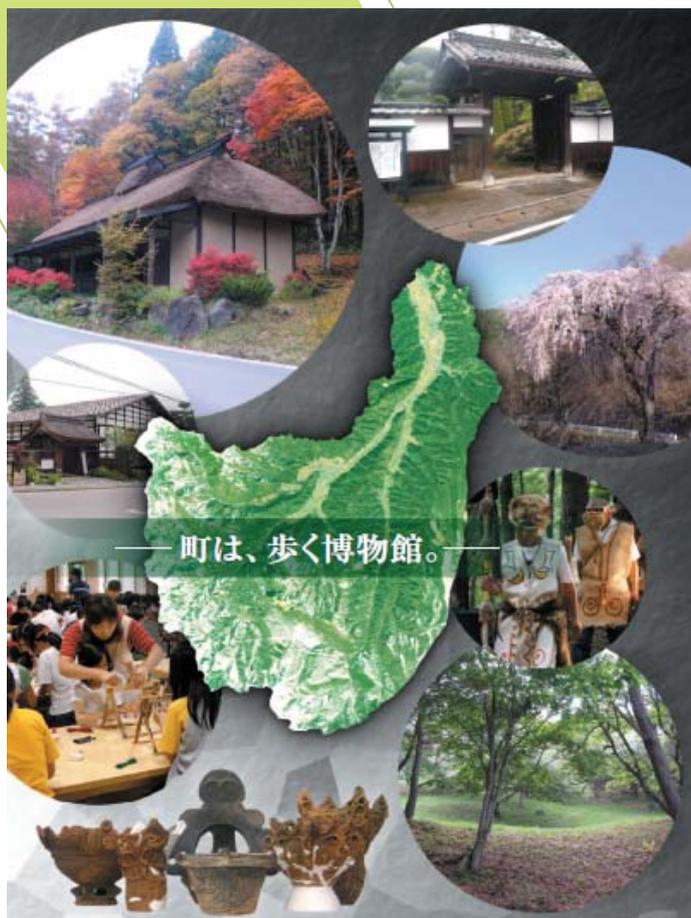


歴史遺産ボランティア

育成プロジェクト

受講生 ガイドブック



明治大学 長和町 連携講座



「歴史遺産ボランティア育成プロジェクト」受講生ガイドブック目次

目次	1
講座受講にあたってのお願い	2
カリキュラム	3
講義内容のご紹介	4

講座受講にあたってのお願い

【受付】

- 会場入り口に名簿が置いてありますので、出席のチェックを付けてからお入りください。
- 講義中はネームプレートを着用して下さい。
(毎回、講義終了後に回収します → 会場入り口の受付台にお戻しください)
- 資料が置いてある場合は、一部ずつお取りください。

【欠席】

- 欠席される場合は、長和町教育委員会へご連絡をお願いします。
(当日配付した資料を、次回の講義でお渡しします)

【休講】

- 台風や事故、講師の急病等により、やむを得ず休講にする場合があります。その際には、各受講生の皆様へ事務局より速やかにご連絡いたします。

【その他】

- すべての講座について、マスコミ等へ情報公開しておりますので、あらかじめご承知おきください。
- 受講される皆様のご希望や期待度を本プロジェクトへ可能な限り反映させていくために、アンケートを実施しますので、ご協力くださるようお願いいたします。
- 休憩時間などに会場を出られる場合は、貴重品等を必ず携行してください。
- 昼食は、お弁当などご持参下さい。
- その他ご不明な点は、明治大学事務局へお問合せください。

以上

【お問い合わせ先】

長和町教育委員会
〒386-0602 長野県小県郡長和町長久保 455
TEL/0268-68-2127 FAX0268-68-4139
Mail/syakai@town.nagawa.nagano.jp

明治大学 学術・社会連携部社会連携事務室
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
アカデミーコモン 11階
TEL/03-3296-4543 FAX/03-3296-4541
Mail/la-pr@mics.meiji.ac.jp
URL <http://www.meiji.ac.jp/manabigp/>

【会場】

長和町和田コミュニティーセンター
〒386-0701 長野県小県郡長和町和田 4233-1
TEL0268-41-6123

「歴史遺産ボランティア育成プロジェクト」カリキュラム

回数	日程	時間	内容	時間	講師
1	6/5	10:00～10:45	開講式	45分	
第一段階 地域を知る講座					
2	6/5	11:00～12:30	黒耀石と長和町	90分	杉原 重夫 明治大学文学部教授
3	6/5	13:30～15:00	中山道と長和町	90分	伊能 秀明 明治大学中央図書館事務長
第二段階 地域貢献の現状を学ぶ					
4	6/19	10:00～11:30	地域活性化の事例①	90分	小林 康男 塩尻市平出博物館長
5	6/19	12:30～14:00	地域活性化の事例②	90分	大國 晴雄 大田市教育委員会教育部長
6	7/ 3	10:00～11:30	地域の活性化について考える	90分	水野 勝之 明治大学商学部教授
第三段階 ボランティア講座					
7	7/ 3	12:30～14:00	博物館とボランティア	90分	熊野 正也 大妻女子大学非常勤講師
8	7/10	10:00～11:30	観光ガイド・語り部	90分	三石 学 みえ熊野学研究会研究員
9	7/10	12:30～14:00	文化財の保存と活用	90分	矢島 國雄 明治大学文学部教授
10	7/25	10:00～15:00	朗読を楽しむ①	240分	原田 大二郎 明治大学特別招聘教授
11	8/ 8	10:00～15:00	朗読を楽しむ②	240分	原田 大二郎 明治大学特別招聘教授
自立学習					
12	9/ 4	10:00～15:00	実習・講義(黒耀石)	240分	大竹 幸恵 長和町教育委員会学芸員 山科 哲 明治大学黒耀石研究センター特別嘱託職員
13	9/18	10:00～15:00	実習・講義	240分	大竹 幸恵 長和町教育委員会学芸員 山科 哲 明治大学黒耀石研究センター特別嘱託職員
14	10/ 2	10:00～15:00	実習・講義(中山道)	240分	勝見 譲 長和町教育委員会学芸員 吉田 優 明治大学文学部准教授
15	10/ 9	10:00～15:00	実習・講義	240分	勝見 譲 長和町教育委員会学芸員 吉田 優 明治大学文学部准教授
第四段階 地域の博物館調査と成果報告の作成					
16	10/23	10:00～15:00	博物館見学実習	240分	小林 康男/勝見 譲
17	11/ 6	10:00～15:00	成果報告(史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他)の作成①	240分	杉原 重夫/大竹 幸恵/山科 哲 吉田 優/勝見 譲
18	11/13	10:00～15:00	成果報告(史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他)の作成②	240分	杉原 重夫/大竹 幸恵/山科 哲 吉田 優/勝見 譲
成果報告会 プレゼンテーション					
19	11/27	10:00～11:30	記念講演会	90分	
	11/27	12:30～14:30	成果発表、修了式	120分	
19回(14日間)					

講義内容のご紹介

第1段階 地域を知る講座

6月5日(金)
11:00~12:30

黒曜石と長和町

明治大学文学部教授
杉原 重夫

日本全国で黒曜石産出地は約 160 ヶ所あり、このうち、石器時代人が利用した黒曜石の原産地は 60 ヶ所余が確認されています。長和町北部に位置する霧ヶ峰火山は、北海道の白滝・置戸・十勝、伊豆諸島の神津島、九州の腰岳とともに日本最大級の黒曜石原産地です。また、ここでは 10 数箇所の噴出口(火道)から、岩脈、溶岩流、火砕流などさまざまな産状で黒曜石を算出することで、他では見られない特徴があり、まさに「黒曜石の博物館」と言ってよいのです。霧ヶ峰産黒曜石は、旧石器時代から縄文時代にかけて関東・中部・北陸地方を中心に広く利用され、なかでも縄文時代前・中期(約 5500 年前~4000 年前)には約 600km 遠方の青森県三内丸山遺跡でも使用されたことが明らかになっています。石器時代において黒曜石が運搬されたルートは「オブンデアンロード」と呼ばれ、当時の「人」と「物」の交流を解明する上で重要なヒントを与えてくれます。(講義において黒曜石の「耀」は「曜」を使用します。)

6月5日(金)
13:30~15:00

中山道と長和町

明治大学中央図書館事務長
伊能 秀明

中山道は、江戸時代に五街道のひとつであり、中部山岳地帯を貫く幹線道路でした。江戸の日本橋から浦和・大宮・高崎・軽井沢・塩尻・木曾福島・垂井・守山などを経て、草津で東海道に合流する 67 宿がありました。参勤交代で約 30 の大名家が、中山道を往来したといわれます。この街道のうち、贄川から馬籠の間は、木曾路と呼ばれました。

島崎藤村の『夜明け前』は、木曾路西端の小さな宿場馬籠を舞台に、馬籠宿の本陣(大名等の宿舎)の主で、庄屋(いわば村長)でもある青山半蔵を主人公とし、幕末から明治維新後の世相を描いた歴史小説の大作として著名です。

講義では、『夜明け前』を手がかりに、地域の景観や歴史にかかわる史料を紹介します。中山道を往来した人々と長和とのかかわりについて、一緒に振り返ることができれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。

第2段階 地域貢献の現状を学ぶ

6月19日(金) 10:00~11:30	地域活性化の事例①	塩尻市平出博物館長 小林 康男
<p>市民が支える平出遺跡</p> <p>平出遺跡は、昭和20年代に地域住民の支援のもとに総合学術調査が実施され、縄文時代から平安時代にわたる大集落遺跡であることが判明しました。こうした成果から昭和27年には15haが国史跡に指定されました。遺跡内には竪穴住居が復元され、博物館も建設されて見学・学習の用に供されてきましたが、平成9年からは用地の公有化と「五千年におよぶ平出の地」をキャッチフレーズとして平出遺跡公園の本格的な環境整備が進められています。昭和20年代から常に市民の支援を受けながら平出遺跡の保存・活用や平出博物館の活動を続けてきていますが、現在は3つの団体がそれぞれの役割分担にそいながら活動しています。平出遺跡が地域活性化の一翼を担うためには、こうした市民の自発的な支援活動が何よりも重要です。講座では平出遺跡と市民活動とのかかわりを紹介します。</p>		

6月19日(金) 12:30~14:00	地域活性化の事例②	大田市教育委員会教育部長 大國 晴雄
<p>石見銀山遺跡は、史跡、重要文化財、重要伝統的建造物群保存地区の3種、14か所の国指定(選定)文化財からなり、世界遺産登録基準の3基準を満たしています。</p> <p>遺跡の中心、大田市大森町では、「地域住民の誇り」として、全戸加入の大森町文化財保存会が1957年に結成され、それを基盤として69年の史跡指定、以降、民間による資料館の開設、伝建地区選定、そして世界遺産登録になったものです。</p> <p>遺産登録以来、パーク&ライドそしてウォークへ、遺跡から離れたガイダンスと駐車場、手づくりの町並み保存活動など、まちづくりのモデルとなるよう努力中です。</p> <p>遺産登録は「地域の誇り」、「地域全体の活性化」につながり、「おだやかさと賑わいを両立させます」という「石見銀山大森町住民憲章」の精神、官民協働の「石見銀山協働会議」による「石見銀山行動計画」についても紹介します。</p>		

7月3日(金) 10:00~11:30	地域の活性化について考える	明治大学商学部教授 水野 勝之	
<p>「地域貢献」というとなにかとてもむずかしいことに思えて、なかなかその一歩が踏み出せない方も多いと思います。</p> <p>しかし、実際には、誰でも「地域貢献」ができる可能性を持っています。なぜなら、地域にとって必要なことは一つではなく、それが小さくても大きくても、「地域のため」になれば「地域貢献」となるからです。自分ができることから始める。…それが、「地域貢献」の第一歩です。</p> <p>この講座を通して色々なことを学ぶ中で、あなた自身が気づいていなかった「自分の可能性」を発見することができるかもしれません。又、地域のことを調べる中で、自分の住んでいる地域に足りないもの、必要なものが見えてくるかもしれません。</p> <p>大切なのは、その一歩を踏み出そうという気持ちです。「私の一歩が地域を変える」その気持ちから始めましょう。</p>			

第3段階 ボランティア講座

7月3日(金) 12:30~14:00	博物館とボランティア	大妻女子大学非常勤講師 熊野 正也	
<p>今、どこの博物館でもボランティアに対する依存度が高くなりつつあるようです。ある館では展示解説員、ある館では図書室の管理員、そして、またある館では資料の整理員等その役割は様々です。確かにそれらの仕事に生きがいを感じながら積極的に活動している人もいますが、そうでない人も多いです。喜びもなければなにもなく、ただ、館からの指示による仕事を黙々と処理をしているだけのようです。これではボランティアとしての意味がありません。ボランティアを目指す人は人生経験が豊かで、かつ知識人が多いです。博物館はこの人材を活用しない手はないのです。そこで、いろいろなボランティア活動の実例を紹介しながら、今後の特に地域博物館における博物館とボランティアとの新しい関わりについて探ってみることにします。</p>			

7月10日(金) 10:00~11:30	観光ガイド・語り部	みえ熊野学研究会研究員 三石 学	
<p>平成16年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として熊野古道が世界遺産に登録されてから今年で5周年を迎えました。</p> <p>30年前には、熊野古道伊勢路も草や土に埋もれていました。古道を発掘するために、私も含め、休み返上で有志が地道な活動をしてきました。地元の人々がただの山道だと言っていた、ただの山道に価値が見出され、やがて世界遺産となりました。現在は古道の価値に気づき、古道整備のボランティアや多くの語り部がガイドとして活躍しております。</p> <p>今年は熊野古道語り部友の会が発足してから10周年を迎えます。当初数人で発足した語り部の会も今は200名を越えるほどになりました。しかし、まだまだ多くの課題も抱えております。世界遺産となってから、より一層の知識とモチベーションを求められ、語り部の研修が必要となっております。今回の講座では、世界遺産にいたるまでのこれまでの歩みと、語り部の発足、活動の様子、これからの課題などをお話したいと考えております。</p>			

7月10日(金) 12:30~14:00	文化財の保存と活用	明治大学文学部教授 矢島 國雄	
<p>「文化財」という言葉は、昭和 25 年、「文化財保護法」が制定されるに際して作られた言葉で、cultural property の訳語であるといわれています。しかしながら、それ以前に文化財をさす言葉がなかったわけではなく、明治 4 年には、「古器旧物の保存方」という太政官の布告が出されていますし、大正 8 年には「史蹟名勝天然記念物保存法」が、昭和 4 年には「国宝保存法」が公布されているので明らかなように、今日「文化財」とされるものの保護・保存の歴史は長い歩みがあります。こうした、わが国での「文化財保護」の歩みを概観しながら、「文化財」というものがどういうものなのか、それを保護・保存するのはどんな意味があるのか、そしてそれを活用するというのは具体的にどのようなことをさすのか、どのような意義があるのかについて考えたいと思います。</p>			

<p>7月25日(土) 8月8日(土) 両日とも10:00~15:00</p>	<p>朗読を楽しむ① 朗読を楽しむ②</p>	<p>明治大学特別招聘教授 原田 大二郎</p>
---	----------------------------	------------------------------

声を出して活字を読んだことがありますか。

「活字を、大きな声を出して読むこと」を朗読といいます。活字の情報を口に出して読んでみると、耳を通して、自分の内部へ、再び入ってきます。目だけで、情報を取り入れることに比べると遙かに頭脳を駆使します。これがとても、健康にいいようです。朗読をやると、みんな目が輝き、若返るように見えます。「読み聞かせの会」がありますが、ボクは、あの活動はあまり感心しません。朗読を人に聞かせても、あまり役には立ちません。読む人の自己満足に終わることが多い。むしろ、聞いていらっしゃるお年寄りや、小さな子供に、実際自分で声を出して読んでもらう。「読み聞かせてもらう会」こそ、必要なのです。朗読に、技術やうまさは必要ありません。ただ情報を、人に伝えるための「覚悟」が大切です。相手の心に届く声で、朗読するためには自分の心を解放することが必要です。朗読の練習は、「心の解放」の修練でもあります。

	<p>自立学習</p>	
--	-------------	--

これまでの学び直しの復習

明治大学博物館友の会の活動を紹介するDVDなどの視聴

<p>9月4日(金) 9月18日(金) 両日とも10:00~15:00</p>	<p>実習・講義(黒耀石)</p>	<p>長和町教育委員会学芸員 大竹 幸恵 明治大学黒耀石研究センター 特別嘱託職員 山科 哲</p>
---	-------------------	--

長和町には複数の黒耀石原産地とそれらを取り巻く遺跡が多数あり、毎年多くの黒耀石を愛好する方々が訪れます。本講義では、歴史遺産としての黒耀石、自然遺産としての黒耀石、さらにその保存と活用の3点について、実習形式で学習します。

- ①歴史遺産としての黒耀石については、石器そのものと黒耀石原産地に関する基礎知識を体験ミュージアムの展示と体験学習、また国史跡星糞峠黒耀石原産地遺跡でのフィールドレクチャーにより学びます。
- ②自然遺産としての黒耀石については、男女倉の牧ヶ沢原産地のフィールドワークを中心として学びます。
- ③保存と活用については、体験ミュージアムの体験学習の指導や展示解説実習等を通じて、観光および教育資源としての黒耀石の意義を学びます。

こうした学習を通じて、観光客等に向けた効果的な案内媒体(パンフレット、観光ガイドマップ等)を作成・発信します。

10月2日(金) 10月9日(金) 両日とも10:00~15:00	実習・講義(中山道)	明治大学文学部准教授 吉田 優
---	-------------------	----------------------------------

「町誌・村誌を音読する」会やりましょう！

長野県は、昔から郷土史・地方史研究のさかんな県です。日本の地方史研究を代表するひとりとして、一志茂樹を生み出した県です。

わたし自身もいろいろな示唆をうけ、地方史研究をつづけています。長和町には、すでに“新編長門町誌”と“和田村村誌”が刊行されています。よい本です。しかし案外と地元の人々には読めないのが一般的です。

これを、みなさんと一緒にテキストとし、音読しようではありませんか。みなさん、一緒に読みながら、どの字が読めないのか、どの用語の意味がわからないか、ひとつひとつ確かめながら勉強しましょう。町村誌を仲立ちにし、参加者同士の親交を深めようではありませんか。そして、そこで勉強した成果を中山道を訪れる人達に話しましょう。そのことではじめて自分の知識となります。

「地元」は歴史の宝庫です。“長門町史・和田村史を音読する会”やってみましょう。

10月2日(金) 10月9日(金) 両日とも10:00~15:00	実習・講義(中山道)	長和町教育委員会学芸員 勝見 譲
---	-------------------	-----------------------------------

旧町村誌の記述をもとに、中山道長久保宿、和田宿の成り立ちや、宿場の機能・構成・主要施設等の基礎的な知識を学びつつ、実際に両宿場を探訪して、先人らが育み残してきた歴史文化遺産に触れることで、知識を自身のものとして、「中山道と両宿場の語り部」を目指します。

①10/2(金)長久保宿

10:00~12:00 講義:新編長門町誌にみる長久保宿

13:00~15:00 実習:長久保宿の探訪

②10/9(金)和田宿

10:00~12:00 講義:和田村村誌にみる和田宿

13:00~15:00 実習:和田宿の探訪

第4段階 地域の博物館調査と成果報告の作成

<p>10月23日(金) 10:00~15:00</p>	<p>博物館見学実習</p>	<p>塩尻市平出博物館長 小林 康男 長和町教育委員会学芸員 勝見 譲</p>	
<p>塩尻市平出博物館、奈良井宿などを実際に訪れ、博物館活動、ボランティアの実情を学び、地域に根ざした活動とは何かを学びます。</p>			

<p>11月6日(金) 11月13日(金) 両日とも 10:00~15:00</p>	<p>成果報告</p>	<p>杉原 重夫/大竹 幸恵/山科 哲 吉田 優/勝見 譲</p>	
<p>①11/6(金) 史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他の作成①</p> <p>②11/13(金) 史跡ガイドブック・ガイドマップ、その他の作成②</p>			

<p>11月27日(金) 10:00~11:30 12:30~14:30</p>	<p>成果報告会</p>	<p>杉原 重夫/大竹 幸恵/山科 哲 吉田 優/勝見 譲</p>	
<p>10:00~11:30 記念講演会</p> <p>12:30~14:30 成果発表 各自、あるいはグループが作成した成果報告の発表を行います。 修了式</p>			

メ モ



名前